



ほけんのまどから



9月感染症情報

手足口病 乳児 24名 幼児1名
 ヘルパンギーナ 乳児 3名
 伝染性紅斑(りんご病) 乳児 3名 幼児9名
 インフルエンザ A型 乳児 2名 幼児 4名 職員2名
 A型・B型 幼児1名

乳児クラスでは8月に手足口病が流行しましたが、9月も再度流行しました。今年は同シーズンに2回かかるお子さんが多く、引き続き注意していきましょう。インフルエンザ A型も乳児・幼児共に発症しています。突然の高熱・咳・鼻水等の症状がある際は受診をお願いします。また、ワクチンは 10/1 から開始となりますので接種された際は職員にお知らせ下さい。

10月10日は目の愛護デー

子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は 6 歳頃にほぼ完成すると言われています。その後に視力低下するのは、姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。視覚からたくさんの刺激を経験することで、子どもたちの視力を育てていきましょう。

こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近づいて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いに物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている
- ・見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする



このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしましょう。

👁️ **視覚スクリーニング検査<スポットビジョンスクリーナー>**
 目の異常の早期発見は 3 歳児健診での視力検査が大切です。しかし、自宅での視力検査が正しく出来ているか不安な家庭も多いと思います。また、乳児や視力検査が出来ないお子さんでも検査できる機械があります。

👁️ **スポット ビジョンスクリーナー**は、大人に抱っこされた状態で、たった数秒で近視、遠視、乱視、不同視、瞳孔不同など、弱視の原因となる異常を検出することが可能な検査機器です。お子さんの検査に対する難しさを克服する機械といえます。

目の事で気になる症状がある場合は、スポットビジョンスクリーナーがある小児科や眼科を受診してみたいかがでしょうか。



お知らせ

- ☆新しい乳児医療証のコピーの提出がまだの方は職員に提出をお願いします。健康保険証の更新がある場合も合わせて提出してください。
- ☆10/1 からインフルエンザの予防接種が開始されます。区の助成を利用し、早めに計画を立てていきましょう。接種をしたら職員にお知らせください。

毛虫(チャドクガ)に刺された時の応急処置



チャドクガは 4~6 月、7~9月の年2回、卵から羽化し、主にサザンカやツバキの葉の裏側に複数匹でかたまっている事が多いです。公園や民家の垣根や植え込み等身近な所に見かけるため、毎年かたるばのお子さんも毛虫に刺されたというケースを目にします。毛虫などが持つ「毒針毛」に触れると激しいかゆみを伴う皮膚炎が起こります。怖いのは、直接触れなくても風に乗って毒針毛が飛んでくる可能性があります。活動時注意するとともに、刺されてしまった際の処置も確認していきましょう。

- ① **症状:突然皮膚の広範囲に赤いポツポツと痒みが生じ、掻くほどに範囲が広がる**
- ② **処置 1:やさしくすすぎ洗い**
その後ティッシュなどでこすらずポンポンと水分を拭き取る
- ③ **処置 2:患部に粘着テープを貼り毒針毛をくっつけてはがす**

数回繰り返した後はかゆみ止めの軟膏で対応する。衣類に毒針毛が付着した場合は他の洗濯物と分けて複数回洗きましょう

☆上記の処置をした後に皮膚科に受診をしましょう！

